

第1学年 道徳科学習指導案

平成29年10月24日（火）第5校時

- 1 主題名 ルールを守る 内容項目 [C 規則の尊重]
- 2 ねらい きまりやルールを守ることの大切さを理解し、守ろうとする態度を育てる。
教材名 「かくれんぼ」（出典：彩の国の道徳「きょうもげんきに」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題は、内容項目C「約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすること。」をねらいとし、生活する上で必要な約束や法やきまりの意義を理解し、それらを守るとともに、自他の権利を大切に、義務を果たすことに関する内容項目である。この内容項目は、第3学年及び第4学年の内容項目C「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。」に発展し、さらに、第5学年及び第6学年の内容項目「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと。」へと発展していく。

この時期の児童は、まだ自己中心性が強い。友達と過ごすときに自分勝手な行動をとってしまったり、自分の都合のよいルールをつくってしまったりすることが多い。また、身の回りの公共物や公共の場所の使い方や過ごし方について、どうすることがいいのか、そしてそれはなぜなのかというものの理解は十分とは言えない。

指導に当たっては、児童の生活に身近な約束やきまりを取り上げながら、なぜ約束やきまりが必要なのかということ十分に理解させ、守ろうとする意欲や態度を育てていくことが大切である。そして、使う物や場所を進んで大切にしていきたいという判断力や態度を身に付けられるようにしていく。本主題では児童に身近な「遊び」の中でのきまりや約束の大切さを扱い、「なぜみんなの約束を守ることは大切なのか。」ということを理解させてしっかりと守ろうとする判断力や態度を育てていきたいと考え設定した。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

1学期に学校生活の約束やきまりを知り、挨拶や返事をすることや学習ルールなどを守ることなどが定着してきた。「廊下は右側を歩こう。」や「もうすぐで休み時間が終わるよ。」などと、周りの友達と声をかけ合う姿も見られる。真面目に行動することのできる児童が多い一方で、自分のやりたいことを優先してついきまりを破ってしまったり、その時の楽しいことを優先してしまったりする児童も見られる。

また、本学級の児童は外遊びが好きで休み時間には全員が外に出て遊んでいる。週に一度は学級全員で鬼ごっこをしたり、ドッチボールをしたりとみんなで過ごす時間を大切にルールを守って過ごしている。しかし、自由な時間の業間休みや昼休みには、「遊ぶ約束をしていたけれど遊べなかった。」「ボールを返してもらえない。」などと訴えてくる児童もいることから、約束やきまりを守ることの大切さは分かっているけれども行動に結びついていない児童もいることが考えられる。

以下は2学期当初に行ったアンケート結果である。

<アンケート結果> 9月8日 実施

①友達と遊ぶと楽しいですか。

はい 17人 いいえ3人 どちらでもない5人

②友達と遊んでいて困ったことはありますか。

はい 12人 いいえ13人

③どんなことで困りましたか。〈主な理由〉

- ・仲間に入れてもらえなかった。
- ・悪口を言われてしまう。
- ・約束やルールを守らない人がいた。
- ・約束をしたけれど、遊べなかった。
- ・おもちゃを貸してもらえなかった。
- ・ボールがなくなってしまった。

④その時どんな気持ちでしたか。〈主な理由〉

- ・嫌な気持ち。
- ・悲しい。
- ・残念な気持ち。

⑤遊びの約束やルールをいつも守っていますか。

はい 21人 いいえ4人

⑥約束やルールを守るといいことはありますか。

はい 20人 いいえ5人

⑦どんないいことがありますか。〈主な理由〉

- ・困らない。
- ・みんなで仲良くできる。
- ・楽しい。
- ・嬉しい気持ちになる。
- ・けんかをしない。
- ・褒めてもらえる。

アンケート結果では、「遊びの約束やルールを守っている。」と答えた児童がほとんどであった。「どんないいことがありますか。」という質問では、約束やルールを守るとみんなで仲良くできたり、嬉しい気持ちになったりするなどと回答しており、約束やルールを守ることの良さを感じているようである。一方で、「友達と遊んでいて困ったことがある。」と回答した児童がクラスの約半数おり、「約束やルールを守らない人がいた。」や、「約束したけれど遊べなかった。」などという理由が挙げられている。以上のことから、約束やルールを守ることの良さは知っていても、つい自分の都合のよいように行動してしまうところがあると考えられる。

よって、本時ではこのような経験を振り返り、授業の導入場面で提示することで課題意識を持たせていく。きまりや約束を守ることの良さや自己との関わりについて深めさせ、実践できる力を身に付けられるようにしていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、かくれんぼをしている時に主人公のくまさんが「小川を越えないこと。」という動物たちの約束を破り、小川を越えて太い木に隠れてしまうという内容である。なかなか見つからないくまさんを心配して探す動物たちの姿を見て、くまさんは自らの行動を反省する。そして「今度はみんなが楽しいかくれんぼにしよう。」と心に決める。くまさんの心情を中心に追い、他の動物たちの気持ちも考えさせながらきまりやルールを守ることの意義を考えさせ、お互いの楽しい生活につながることを実感させたい。

そこで、以下の4つの視点について考えさせたい。

①<隠れる木を探しているときのくまさんの気持ち>

くまさんがかくれんぼでいつもすぐに見つかることを押さえる。そして、見つかりたくないことから焦りながら隠れ場所を探すくまさんの気持ちに共感させる。

②<ちょうどいい木を見つけた時のくまさんの気持ち>

いつもすぐに見つかってしまうくまさんが自分の隠れやすい木を見つけた時の気持ちである。「小川を越えて自分が隠れられる大きな木に隠れたい。」という気持ちと、「りすさんが川に流されそうになったことから川を越えてはいけない約束がある。」ということを押さえ、両方の気持ちで葛藤するくまさんの心の内を考えさせる。

③<木に隠れた時のくまさんの気持ち>

太い木に上手に隠れて喜ぶくまさんの気持ちを考えることで、鬼に見つからないという念願が叶った気持ちに共感させる。ここではなかなか見つからないくまさんを心配する動物たちの気持ちも考え、多面的・多角的に考えることができるようにする。

④<「こんどはみんなが楽しいかくれんぼにしよう。」と心に決めた時の気持ち>

くまさんはどんなことに気づいたかを考えることで、分析的にくまさんの気持ちに迫っていく。そして、約束やきまりを守ることの大切さを考えさせたい。

以上の4点の視点を基に考え話し合わせることで、人間的な弱さを乗り越えて、約束やきまりを守ることの大切さを味わわせたい。

4 研修課題との関わり

学校研修課題	自ら学び ともに高め合おうとする児童の育成 ～学び合い学習をとおり豊かな心を育む～ 【集団の学び・個の学び】
--------	--

<道徳科におけるめざす児童像>

- 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、友達とともに、高め合おうとする児童
- 多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする児童
- 道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育み、よりよく生きようとする児童

<手立て>

- 黒板シアターによる読み聞かせ

黒板を森の中に見立てペープサートや絵を用いて教材提示をする。BGMを活用したり、かくれんぼで鬼が数える数を子どもたちと一緒に数えたりしながら丁寧に読み聞かせることを心がけ、誰もが同じ土台の上に立てるようにする。

- 問題意識を持たせるための工夫

児童の問題意識を大切にしながら主体的に話し合いを行うために、事前のアンケート結果を提示する。課題解決のためにどうしたらよいかを教材の中から考え、問題解決的に追及していく。

- 多面的・多角的に考えるための発問の工夫


学習課題の解決のために主人公に自我関与しながらペープサート等を活用し考えを深めていく。また、主人公の気持ちだけでなく他の動物たちの気持ちも考えることで、多面的・多角的にきまりを守ることの大切さを考えられるようにする。

- 自己を振り返るための工夫

子どもたちの生活の様子の写真をテレビに写したり、先生方からのビデオレターを見たりして自分の生活に結び付けられるようにする。アンケートにも立ち戻るようにする。

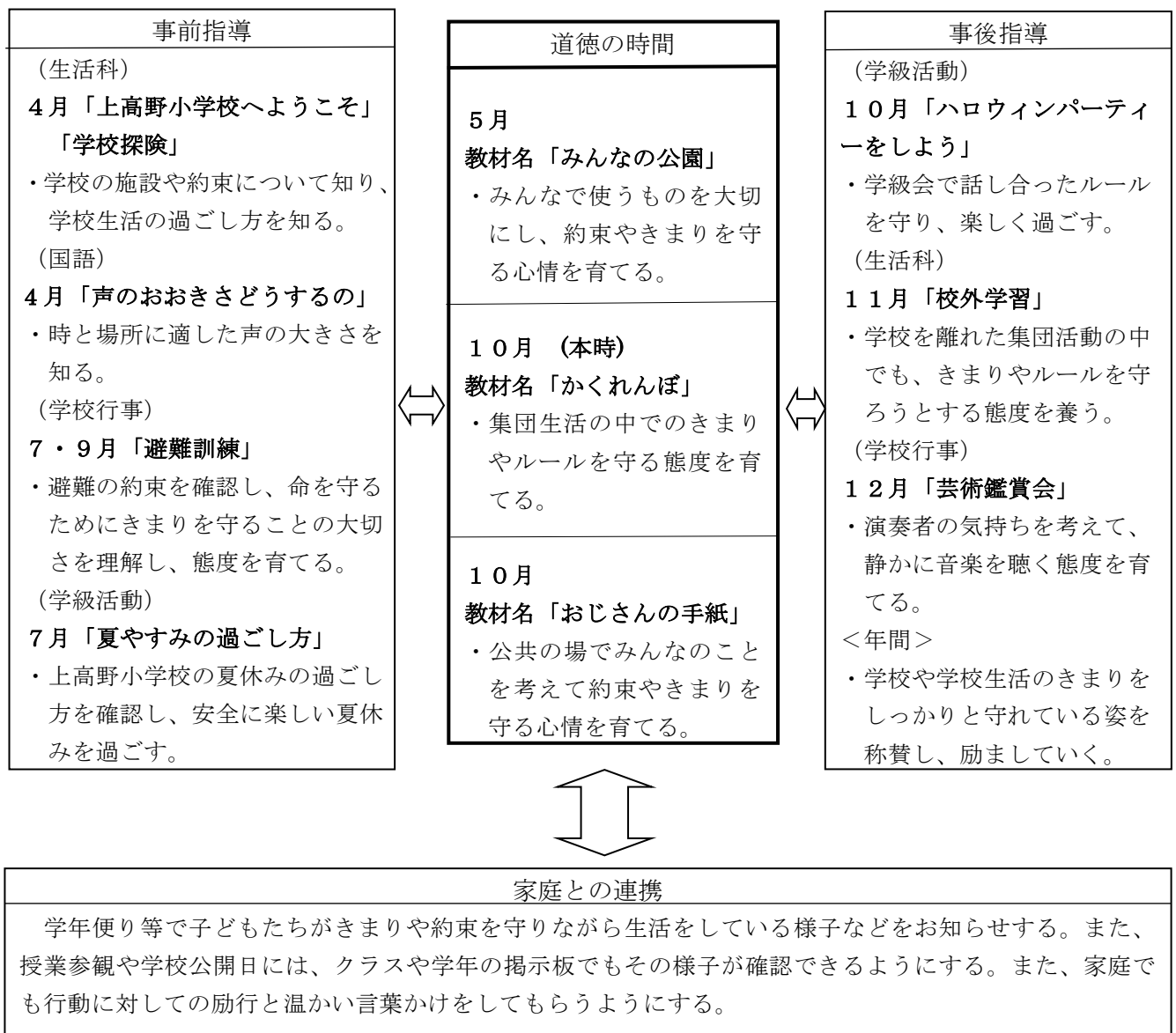
5 学習指導過程

段階		学習活動・主な発問	・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価（評価方法）	時間
導 入	気づく	1 アンケート結果を見て、友だちと遊んでいるときのことを思い出す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">学習課題 みんなが楽しく過ごすための秘密を見つけよう。</div>	・友だちと遊ぶと楽しい。 ・約束を守らない人がいて、困ることがある。	・友だちと遊ぶ時に困ることがあることに触れて価値への方向付けをする。	3
展 開	とらえる	2 教材「かくれんぼ」についての条件・状況を知る。	登場人物：主人公「くまさん」 りすさん うさぎさん たぬきさん きつねさん 条件・状況：森の中で動物たちがかくれんぼをしている。以前りすさんが小川に流されそうになったことがあるので「川をこえないこと。」がみんなの約束になっていた。しかし、身体が大きいくまさんは、いつもすぐに見つかってしまう。くまさんは自分の身体が隠れそうな木を小川の向こう側に見つけた。		2
		3 くまさんの心の変化を考えながら、教材の読み聞かせを聞く。		・黒板を利用しながら、ペープサートを用いて登場人物、条件、状況の視覚化を図り、内容を理解しやすくするために読み聞かせをする。 ・くまさんの心の変容に注目させ、焦点化を図ることで話し合いの方向性を示す。	6
展 開	深める	4 くまさんの心の変化を中心に、きまりを守ることの大切さについて話し合う。 (1) 隠れる木を探しながら、くまさんはどんなことを考えていたでしょうか。	・今度こそ見つかりたくないな。 ・いつも最初に見つかってしまう。 ・早く隠れないと。	・りすさんが流されそうになったから「小川をこえないこと。」がみんなの約束であることを押さえる。 ・いつも最初に見つかってしまうことを押さえる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">意図：焦りながら隠れ場所を探すくまさんの気持ちに共感させる。</div>	25

		<p>(2) ちょうどいい木を見つけた時、くまさんはどんなことを思ったでしょうか。</p> <p>(3) 木の陰に隠れたとき、くまさんはどんな気持ちだったでしょうか。</p> <p>・くまさんが見つからない時、動物たちはどんな気持ちだったでしょうか。</p> <p><テーマ発問></p> <p>(4) くまさんはどんなことに気づいて、「こんどはみんなが楽しいかくれんぼにしよう。」と心にきめたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いい木があるぞ。 ・あの木に隠れられれば見つからないかな。 ・小川を越えたいな。  <ul style="list-style-type: none"> ・危ない。 ・ずるはだめ。 ・約束があるから、こえたらだめなんだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・しめしめ。これで見つからないぞ。 ・うれしいな。 <ul style="list-style-type: none"> ・くまさんはどこに行っちゃったのかな。 ・怪我でもしっちゃったのかな。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなとの約束をしっかり守ろう。 ・ずるをしないようにしよう。 ・約束を守るとみんなが楽しい。 ・約束を守るとみんなが気持ちよく過ごせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・くまさんの心の葛藤を対立的に板書することで、心の内を捉えやすくする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>意図：約束と、自分の都合のよいことで葛藤するくまさんの心の内を考えさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・念願が叶い、鬼に見つからなくて嬉しい気持ちに共感させる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>意図：自分に都合のよいことを優先してしまう自分勝手な行動に共感させ、人間には弱い部分があることを理解させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・動物たちはどんな気持ちだったのか、ペープサートを用いて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・くまさんが気づいたことを考える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>意図：くまさんがどんなことに気づいたかを考えさせることで、約束やきまりを守ることの大切さを考えさせる。</p> </div> <p>◇約束を守ることの大切さに気付くことができたか。 (発言・観察)</p>	
展 開	見 つ め る	<p>5 約束やきまりについて考える。</p> <p>・みんなの学校生活の中</p>	<p>・遊具で遊ぶとき、順番を</p>	<p>・児童が考えやすいように</p>	7

		で約束やきまりにはどんなものがありますか。	守る。 ・廊下の右側を歩く。	写真を提示する。	
		・約束やきまりを守るとどんないいことがありますか。	・みんなが楽しく遊べる。 ・仲良くできる。 ・気持ちよく過ごせる。	・ワークシートに記入する。 ◇約束やきまりを守ることの大切さに気付き、実践しようとする意欲を持つことができたか。(ワークシート・観察)	
終末	あためる	6 先生方からのビデオレターを見る。		・学校生活で約束やきまりを守りながら生活しているクラスのよいところを広める。	2

6 他の教育活動との関連



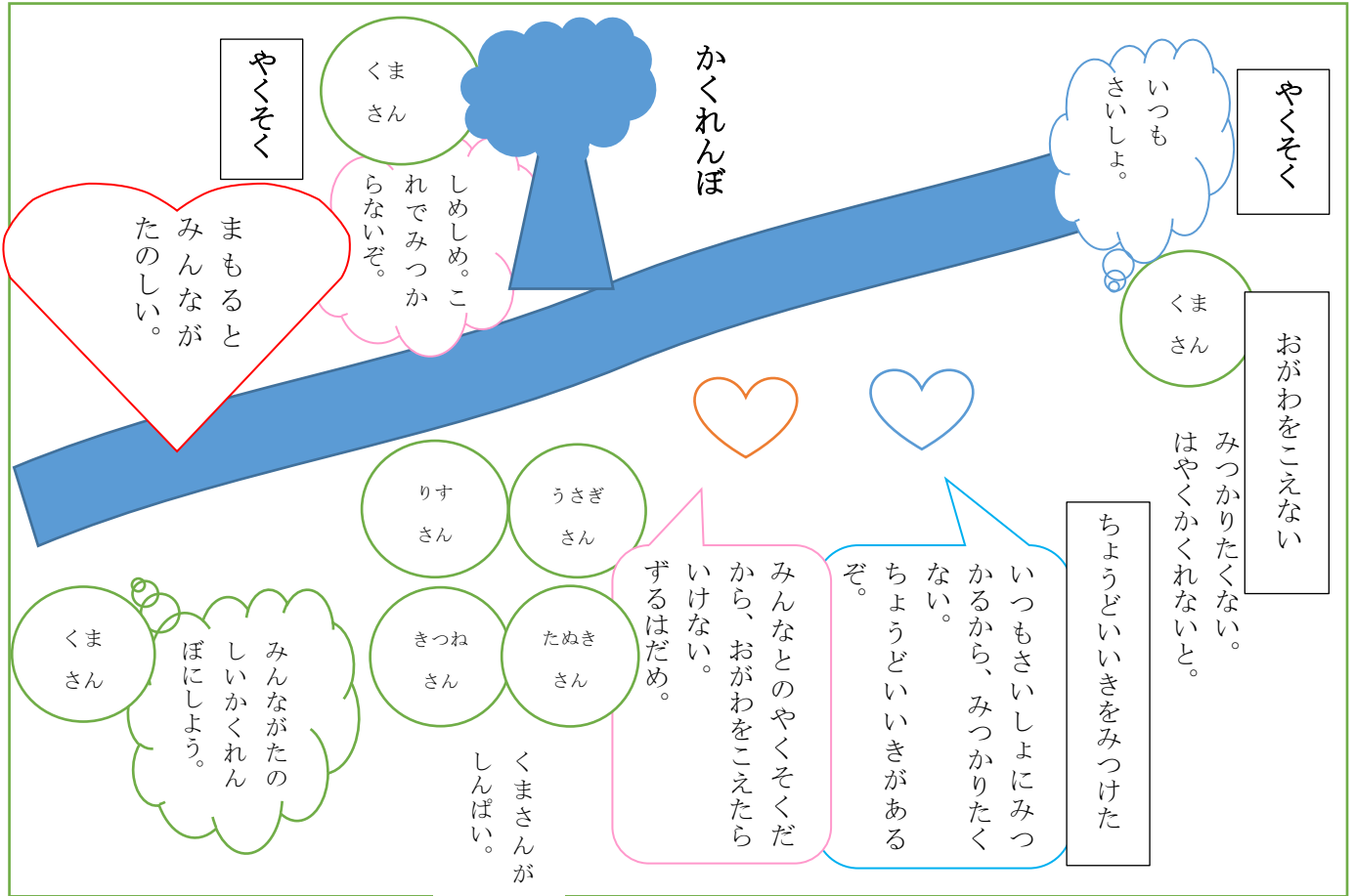
7 評価の観点

◇約束やきまりを守ることの大切さを知ることができたか。(発言・観察)

◇これから約束やきまりを守って生活をしていこうという意欲を持つことができたか。

(ワークシート・観察)

8 板書計画



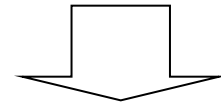
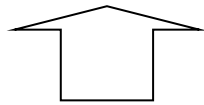
9 教材分析表

ねらい：集団生活の中でのきまりやルールを守る態度を育てる。内容項目 [C 規則の尊重]
授業者の意図：みんなとの約束を破ってしまうくまさんの気持ちや、くまさんが見つからなくて心配する動物たちの気持ちに共感させることで、きまりやルールを守ることの意義を考えさせ、お互いの楽しい生活につながることを実感させたい。

中心発問：「こんどはみんなが楽しいかくれんぼにしよう。」と心にきめた時くまさんはどんなことに気づきましたか。

意図：自分に都合のよいことを優先してしまった自分の姿を反省することで、みんなで楽しく過ごすために約束やきまりを守ることの意義を考えさせたい。

他者理解 人間理解 価値理解



発問：木の陰に隠れたとき、くまさんはどんな気持ちだったでしょうか。

補助発問：くまさんが見つからないとき動物たちはどんな気持ちだったでしょうか。

意図：自分に都合のよいことを優先してしまう自分勝手な行動に共感させ、人間には弱い部分があることを理解させる。また、くまさんを心配する動物たちの気持ちも考えることで周りのみんなを心配させてしまったことを理解する。

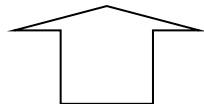
人間理解 他者理解

発問：みんなが遊ぶ時、約束やきまりにはどんなものがありますか。

約束やきまりを守るとどんないいことがありますか。

意図：自分の生活を振り返ることで、価値についての考えを深めさせる。また、実践していこうとする意欲を持たせる。

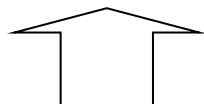
価値理解 自己理解



発問：ちょうどいい木を見つけた時、くまさんはどんなことを思ったでしょうか。

意図：みんなとの約束と、自分の都合とで葛藤するくまさんの心の内を考えさせる。

人間理解



発問：隠れる木を探しながら、くまさんはどんなことを考えていたでしょうか。

意図：焦りながら隠れ場所を探すくまさんの気持ちに共感させる。

人間理解